

## 表題：個別化医療のための診断技術の開発：患者由来がんモデルと網羅的遺伝子・タンパク質解析に関する研究

### 1. 研究の対象

対象となる方：開院～2032年3月31日までに栃木県立がんセンターにて診断・治療された方

調査対象期間：開院～2032年3月31日

### 2. 研究目的・方法

目的：本研究は、個別化医療のための診断技術を開発することを目的とします。多くの抗がん剤が開発され治療法の選択が増えた今日では、患者さんごとに治療法を最適化する「個別化医療」が重要になっています。本研究では、栃木がん生体資源バンクおよび病院病理部に保存された臨床検体を用いて、個別化医療を実現するためのバイオマーカーを開発します。

研究期間：研究承認日～2032年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ情報（氏名、住所、電話番号など個人を特定する情報は除く）

画像       検査結果       血液       尿・便       腫瘍組織

その他（詳細：本研究では、診療の過程で採取された腫瘍組織、血液、尿などを使用します。それらは栃木がん生体資源バンクに保存されているものです。使用にあたっては審査委員会に申請し、承認を得てから使用します。また、腫瘍組織から病理標本として作製され病理診断の目的に使われたあと、保存されている試料も使用します。研究にあたっては、臨床情報として性別、年齢、病名、組織型、臨床検査値などに加え、それぞれの悪性腫瘍に特徴的に調べられる検査データ（バイオマーカー、融合遺伝子など）を使用します。患者さんの個人の特定につながる情報は使用しません。）

### 4. 外部への試料・情報の提供

あり（提供先：国立がん研究センター等共同研究を行う研究機関、下記にリストあり）

なし

### 5. 資料情報の取扱い

提供方法： 配送       インターネットを介して       その他（詳細：センターの備品であるコンピューターを用いて行う）

保管場所：栃木県立がんセンター研究所

保管責任者：吉松有紀

保管期間：研究承認日～2032年3月31日

当センターにおける管理責任者：栃木県立がんセンター 研究所 吉松有紀

バイオバンク試料の対応表は、栃木キャンサーバイオバンクの検体管理責任者が保管、管理します。

病理部に保管されている試料の対応表は、栃木県立がんセンター病院の病理医の協力のもと研究参加者（臨床医）によって対応表が作成され、担当する科の臨床医が保管、管理します。

## 6. 研究組織

栃木県立がんセンター研究所

患者由来がんモデルプロジェクト	プロジェクトリーダー	吉松有紀（責任者）
腫瘍ペプチドミクスプロジェクト	プロジェクトリーダー	佐々木一樹（研究事務局）

栃木県立がんセンター病院

血液内科	科長	目黒明子
消化器内科	医長	小西潤
呼吸器内科	科長	笠井尚
統括診療部	副部長	中村洋一
腫瘍内科	科長	仲地耕平
乳腺外科	科長	安藤二郎
	医長	竹前大
食道胃外科	科長	松下尚之
	医長	林雅人
肝胆膵外科	科長	富川盛啓
	医長	石井政嗣
大腸骨盤外科	副理事長兼副センター長	藤田伸
	科長	小澤平太
	医長	豊田尚潔
呼吸器外科	科長	中原理恵
	統括診療部 副部長	松隈治久
骨軟部腫瘍・整形外科	科長	菊田一貴
泌尿器科	科長	貫井昭徳
婦人科	科長	町田静生
放射線治療科	科長	井上浩一
病理診断科	科長	星暢夫
	理事兼副病院長	平林かおる
歯科口腔外科	科長	土屋欣之
頭頸科	科長	横島一彦

共同研究機関

国立がん研究センター研究所	希少がん研究分野	分野長	（研究責任者）
北里大学理学部附属疾患プロテオミクスセンター		センター長	小寺義男（研究責任者）
北里大学 医療衛生学部医療検査学科臨床検査学		教授	長塩亮（研究責任者）
かずさ DNA 研究所ゲノム事業推進部		ユニット長	川島祐介（研究責任者）
新潟大学 医歯学系 システム生化学分野		教授	松本雅記（研究責任者）
国際医療福祉大学 成田病院 消化器外科		准教授	星本相淳（研究責任者）

